日本共産党
流山深井後援会

ニュースあすなろ

14年5月15日
第183号
発行責任者
菊池 伍郎
TEL/FAX
7154−0526
（部内資料）

安心安全のまちづくり後退
江戸小のトイレ清掃は予算化

暮らし優先の立場で
植田和子市議 3月議会報告会

4月20日北部公民館で植田和子3月議会報告会が行われました。26年度の予算審議について、日本共産党が市民の暮らし優先の市政目指して奮闘したことが報告され、参加者からも活発な意見・質問が出されました。

3月議会は、市の予算を審議して決定することです。市長提案の平成26年度予算は総額502億8900万円。流山市の歴史上最高額となりました。おおたかの森地域にできる小中併設校と総合体育館建て替えの二大プロジェクト、つくばエクスプレス沿線の区画整理事業が主体で、市財政を圧迫し福祉などを犠牲にした内容です。

日本共産党はこの予算案には6つの理由で反対しました。①安全安心のまちづくりが大きく後退した。②医療福祉の分野で削減が進められ、市民の願いに応えていない。③市内の産業振興への予算がまったく足りない。④県下一職員が少ないのにさらに人減らしを進め、全体の奉仕者として働けない。⑤TX事業の展望が見えず市財政から税金投入が35億9千万円と膨れあがっている。⑥2大プロジェクトが市財政を脅かし市民福祉の増進に影響を及ぼしかねません。

メーデー会場で　植田和子市議

市民の声が勝ち取った貴重な成果

子どもの医療費助成

松戸市も我孫子市も中3まで実施されています。柏市も今年の8月から、野田市も昨年方向性を決めたところです。流山市は昨年12月から通院を小6まで引き上げたばかりですが、予算委員会の中で日本共産党以外の他党議員からも「流山市は東葛6市の中でも乗り遅れた。中3まで引き上げるべきだ」との質疑が多数出され、その結果、市長から「平成26年度中に中3までの拡大を判断していきたい」との答弁がありました。市議選の公約を実現することになります。

4月から放射能対策室廃止計画を中止

環境政策課から環境政策放射能対策課に変更され、放射能対策を継続させる体制を残しました。

森の倶楽部の安全

去年皆さんと対市交渉を行い要望した点を予算委員会で聞くと、担当部長から「ウッドデッキからスロープをつけて避難通路を確保する予算どりをしている」。担当課長から「ベランダに出ても閉じ込められるかたちはまずいので安全確保第一で予算をとりました」との回答がありました。

江戸小のトイレ清掃

「トイレ清掃業務委託を実施」という事業内容で260万円の予算がつきました。これから毎年、未改修のトイレは年1回、専門業者による清掃が入ることになりました。一歩前進です。

江戸小の卒業式に出席した時にPTA役員から「江戸小のトイレのこと、よく取り上げてくれました」と声をかけられました。お母さんたちの子どもの環境を良くしたいという切実な思いにも触れ、「引き続き頑張ります」と応えると「頑張ってください。応援しています」と激励されました。3月議会最終日、1期目の初脱衣所などの手摺り、冷水器はまだです。

原発から撤退 ただ今原発ゼロ!!

こんにちは　植田和子です

4月27日　爽やかな気候で、洗濯物もよく乾く し、気分が上がりますね。4月20日の議会報告会は、大変お疲れ様でした。今回も貴重なご意見、ご要望をたくさん聞くことができました。本当にありがとうございました。

質問されたことをそれぞれの担当課で、聞き取りをしてきました。

東深井にできる大型商業施設（ベルクとセキ薬品）の交通安全対策については、宅地課の課長に。出入り口を2つから1つに変更した最終的な理由は、警察から『メイン道路に面した出入り口は、2つより1つにした方が安全』と言われたからだそうです。流山市とオリックス（事業者）との協定書によると『資材の搬入などの時間帯は、通学時間帯を避け、8時30分以降とする』。下校時間は、状況をみて対応するそうです。

工事施工期間中の安全管理、交通誘導については事業者に対し徹底するよう指導する。オープンしてからの安全対策については、『出来上がっていないので話は出来ない』と。（他の質問は2面に）

皆さんのご支援、引き続きよろしくお願いいたします。

植田和子

便乗値上げ監視を

マスコミが話題にしないが消費税上げに便乗値上げがいっぱいある。

4月から一斉に税抜き表示になった。これを利用して表示値段は同じで外税にした店がある。一見表示の変更と見せかけた値上げ。たとえばいままで105円で売っていたものは5円が税。それなのにこれを商品価格にして表示し、8%税をとれば本来税込み108円で売るべきところが105円×1・08＝113・4円になってしまうのです。かなりのスーパーなどで行われているとの情報もあり、発見したら抗議すべきです。この表示変更をしたのは財務省。

財務省の今までの説明では「平成16年4月から価格を表示する場合には、消費税相当額を含んだ支払総額の表示を義務付ける「総額表示方式」が実施されています。「税抜価格表示」と「税込価格表示」が混在し、価格の比較がしづらいし、最終的にいくら支払えばいいのか分かりにくい。

このような状況を解消し、消費者が値札等を見れば「消費税相当額を含む支払総額」が一目で分かるようにするためだ。といっていたのです。

ところが今回「価格の表示に関する特別措置」を決め「消費税の円滑かつ適正な転嫁の確保や事業者の値札の貼り替えなどの事務負担に配慮する観点から，表示価格が税込価格であると誤認されないための措置を講じていれば」つまり「価格は税抜きです」とどこかに掲示するだけでも「税込価格」を表示しなくてよいことにした。なんというご都合主義。

石

コラム 消費税増税

ヘッドライト

NHKの報道がおかしい。ニュースなど全く政府発表の垂れ流しだと批判が強い。秘密保護法でもTPPでも集団的自衛権でも、成立を前提にした政党間の駆け引き、政局ばかりを報道する▼集団的自衛権容認などという本来全く話にならない主張をさも意味あり気に賛否両論の中間を装ったり、政府発表を鵜呑みにし、そのまま「客観的に」報道するのが中立ではない。真実を追究して国民に知らせることこそ使命であろう▼安倍内閣は明らかに政府寄りを公言する人物を次々経営委員に送り込んだ。これには内部からも批判が強く、私のところにも元NHKアナウンサーの知人から辞任要求、辞任までNHK受信料を凍結する運動などの訴えが来た▼もう一つ気になることがある。一方では格差、競争を拡大し、大量の敗北者を作り出している。病気や自殺に追い込まれた人、原発事故で人生を狂わされた人々がいる。その真の原因が追究されないまま、一方で不幸の中を懸命に生きている人を追ったドキュメントや癒しのドラマが放映される。これさえ国民の不満のガス抜きに利用されていないかと疑いたくなる。